

28 里緑地環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 大宮神社周辺一帯（玉造町）
- (2) 指 定 昭和59年3月31日（茨城県告示第477号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、地形的に変化を持ち、狭い谷底を持つ開析谷が発達した北斜面と、その台地に生育するスダジイ、スギ、モミ等の大径木が混生し、常緑性森林の相観を呈している。林床にはヤブコウジの群落やテイカカズラ、オオバジヤノヒゲ等豊富な植物相と、関東以西に分布域を持つ大型の蝶モンキアゲハ、ウラギンシジミ等が生息するなど、昆虫類の種類も多く生息している。

また、留鳥や渡り鳥も多数確認される等、これら良好な自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

(2) 自然環境の概要

ア 植 生

スダジイの自然植生の中に、スギ、ヒノキ、モミ、ヤマザクラ、タブノキの大径木が混生している。

林内には、ヒサカキ、コナラ、ネムノキ、ガマズミ、ヤブツバキ等が見られ、その下にテイカ

カズラ、ベニシダ、ハナイカダ、ヤブコウジ、アカネ、イヌワラビ、ミゾシダ、キバナアキギリ、カシワバハグマ等が豊富に生育している。

イ 野生動物

常緑樹林を好むアオスジアゲハ、ウラギンシジミ、本県を北限とするモンキアゲハが生息するほか、クロアゲハ等のアゲハチョウ類、ベニシジミ、ヤマトシジミ等のシジミチョウ類、キマダラセリチョウやモンキチョウ、コミスジ等のチョウ類が数多く生息している。

また、アジアイトトンボ、ギンヤンマ等のトンボ類や他の昆虫類も多種見られ、さらに、周囲に池や水田も存在しており、コサギ、カルガモ、コガモ等の湿地に住む野鳥やヒバリ、メジロ等の留鳥、ウグイス等の漂鳥、オオヨシキリ、セッカ、ジョウビタキ、シメ等の渡り鳥も多数確認されている。

(3) 区 域

ア 区域の概要

本地域は、行方郡玉造町里地区と加茂地区の境に存在する大宮神社を中心とするまとまった森林地域である。

イ 位置及び区域

行方郡玉造町字馬場乙2749の2外2筆
別図のとおり

ウ 面 積 1.99ヘクタール

エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	1.99	1.99

(面積は、台帳面積による。)

(4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、大宮神社を中心として、スダジイ、スギ、モミ等の大径木、タブノキ、ヤブツバキの常緑樹、エノキ、コナラの落葉樹が混生する森林にその他の植物相も豊富に生育している。

また、チョウ、トンボ等、昆虫類も種類が多く見られ、特に茨城県以西に分布するモンキアゲハ、ウラギンシジミが生息するほか、野鳥も数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規制は、条例の定めにより行う。

(5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

里緑地環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



里緑地環境保全地域区域図

S = $\frac{1}{5000}$

